

岩手県感染症週報

平成19年第9週（2月26日～3月4日）

岩手県結核 感染症情報センター

第9週の概要

1 類感染症

2 類感染症

3 類感染症

・患者発生のおりはありませんでした。

4 類感染症

・患者発生のおりはありませんでした。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生のおりはありませんでした。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

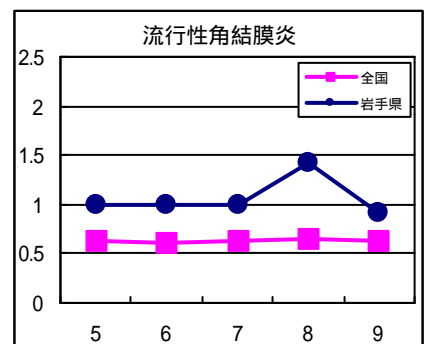
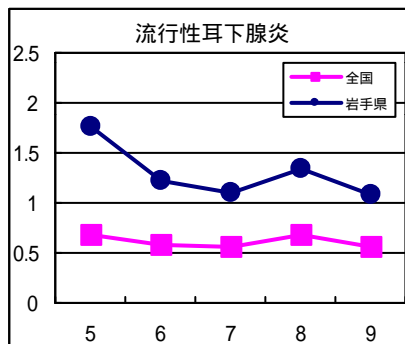
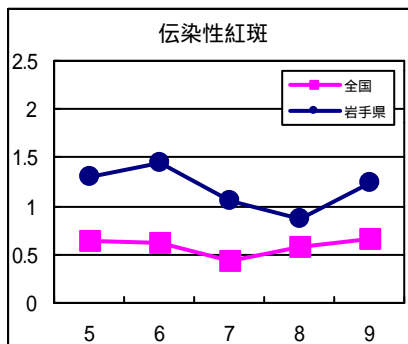
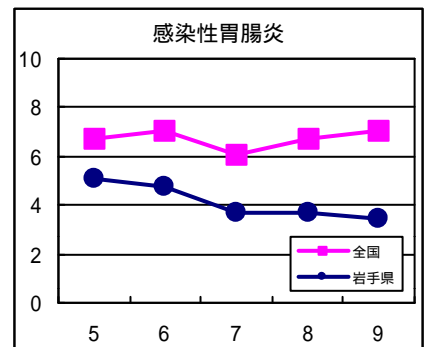
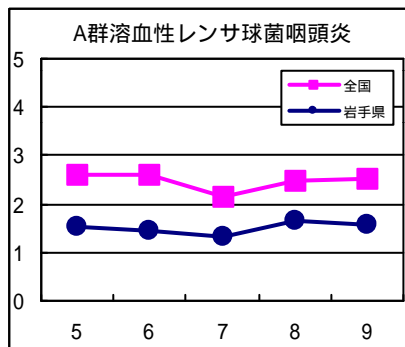
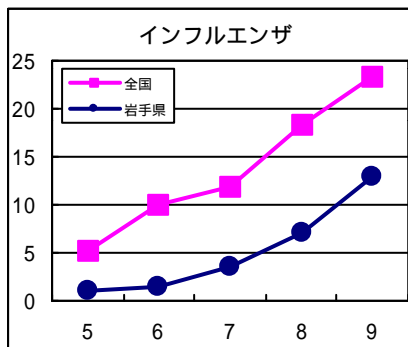
・インフルエンザは増加を続け、県内の定点あたり患者数は13人となり注意報値を超えました。一関地区で25人、奥州地区で20人など内陸部での増加が目立っています。インフルエンザによる学校等の閉鎖措置も各地区から報告されており、集団生活の場では十分な感染予防対策が必要です。県環境保健研究センターのウイルス検査では、A香港型に続いてB型インフルエンザウイルスも分離検出されました。感染予防には帰宅時の手洗いとうがい、十分な休養と栄養、適度な湿度を保つこと（50～60%）などが有効です。インフルエンザを疑う症状がある場合は、早めに医療機関を受診することが大切です。また、周りの方にうつさないようにマスクの着用が勧められます。

・伝染性紅斑（りんご病）は、奥州地区で警報値（定点あたり患者数2人）を超える状態が続いているほか、北上、一関、釜石地区で警報値を超えました。

・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、二戸地区で警報値（同5人）を超えました。昨年からおたふくかぜを警戒していた奥州地区では減少傾向にあります。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		5	6	7	8	9		
インフルエンザ	岩手県	1	1.41	3.52	7.14	13.02	↗	
	全国	5.31	9.95	11.91	18.36	23.37		
RSウイルス感染症	岩手県	0.26	0.77	0.44	0.26	0.38	→	
	全国	1.04	0.8	0.5	0.4	0.32		
咽頭結膜熱	岩手県	0.13	0.18	0.15	0.15	0.08	↘	
	全国	0.34	0.38	0.29	0.33	0.32		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.54	1.44	1.33	1.67	1.59	→	
	全国	2.62	2.62	2.14	2.46	2.51		
感染性胃腸炎	岩手県	5.1	4.74	3.67	3.67	3.46	→	
	全国	6.69	7.02	6.09	6.72	7.03		
水痘	岩手県	1.79	2.62	2.44	1.97	1.79	↘	
	全国	2.04	2.43	2.3	2.37	2.32		
手足口病	岩手県	0.31	0.15	0.08	0.33	0.21	→	
	全国	0.36	0.4	0.3	0.37	0.31		
伝染性紅斑	岩手県	1.31	1.44	1.05	0.87	1.23	↗	
	全国	0.65	0.61	0.44	0.57	0.66		
突発性発疹	岩手県	0.38	0.49	0.33	0.51	0.15	→	
	全国	0.65	0.61	0.54	0.6	0.58		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.1	0	0.03	0.21	0.23	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0	0.01	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.77	1.21	1.1	1.33	1.08	→	
	全国	0.69	0.58	0.56	0.67	0.57		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1	1	1	1.42	0.92	→	
	全国	0.63	0.61	0.64	0.65	0.63		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.02	0.02	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.45	0.9	0.65	0.2	0.65	↗	
	全国	0.55	0.62	0.53	0.44	0.52		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.02	0.02	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

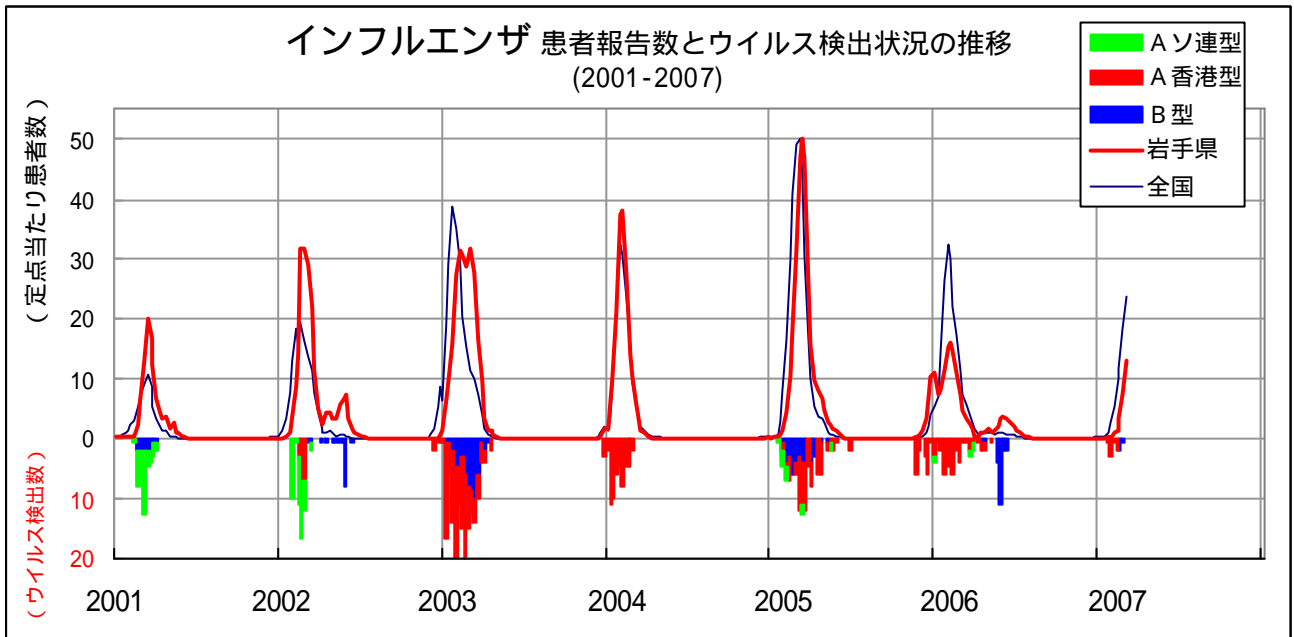
分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		5	6	7	8	9		9	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	2
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	10	92
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	5
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	4
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	17	123
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	1	35
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	4
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	36
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺炎候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	1	0	0	0	0	1	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	4
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	9	64	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	1	
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	9	118
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	0	24
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	29
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	2	24
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	20
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	16	207
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	8
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	8	77
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	9
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	16

今注目の感染症

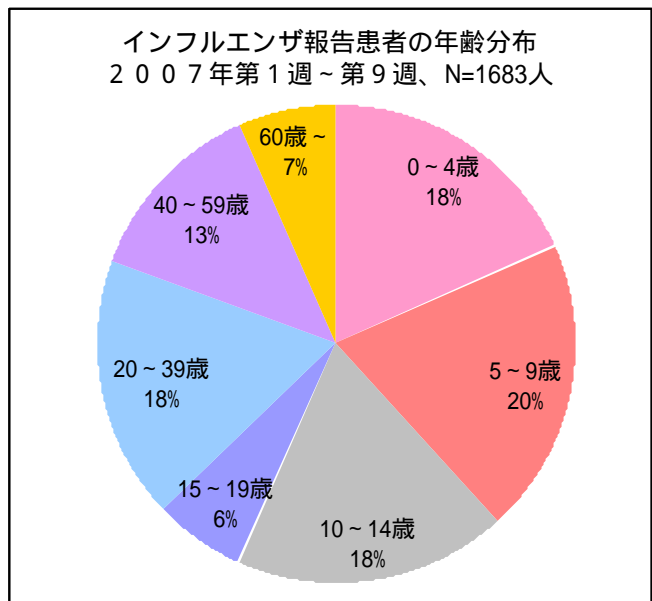
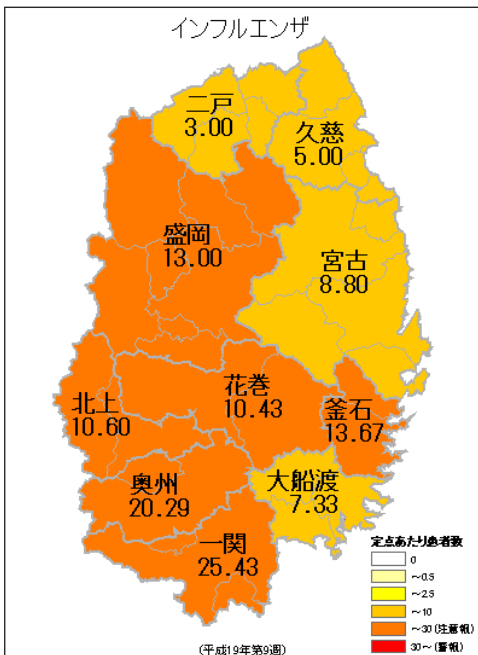
インフルエンザ

インフルエンザは、内陸部を中心に患者の増加が続き、6地区で注意報値（定点あたり患者数10人）を超えました。環境保健研究センターで行っているウイルス検査では、A香港型に続いてB型インフルエンザウイルスが分離検出されています。

予防には、帰宅時の手洗いやうがい、外出時のマスクの着用、適切な湿度の保持（50～60%）、十分な休養と栄養が重要です。また、インフルエンザにかかったと考えられる場合は、早めに医療機関を受診するとともに、咳やくしゃみをする際には、ハンカチやティッシュで口元を覆う、あるいはマスクを着用するなど、周囲への配慮が望まれます。



インフルエンザの定点あたり患者数（第9週）



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からB型インフルエンザウイルスを3例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からアデノウイルス2型を1例分離検出しました。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による学校等の閉鎖措置状況（3月7日まで）

岩手県	盛岡	花巻	北上	奥州	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
19	6	0	1	0	2	2	1	0	3	4

2月26日～3月7日の施設閉鎖件数 12件

感染性胃腸炎の集団発生

1 一関市内の小学校（児童数153名、職員16名）

- ・患者の状況 3月1日から5日にかけて、27名（児童26名、職員1名）に症状（下痢、嘔吐、発熱等）
- ・有症者5名中4名からノロウイルスを確認

感染性胃腸炎の集団発生の状況

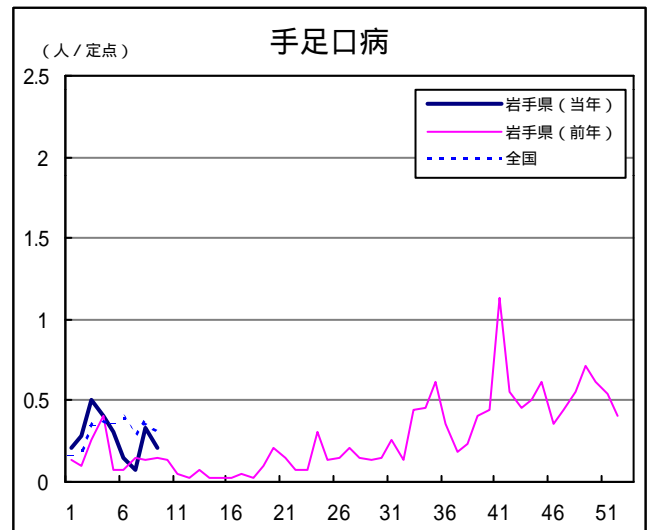
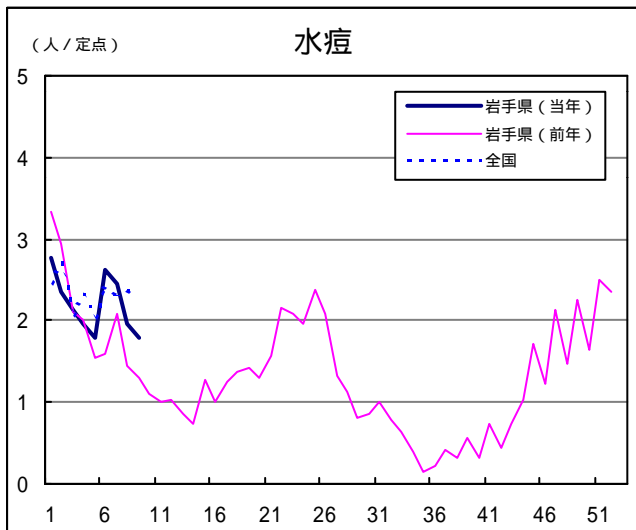
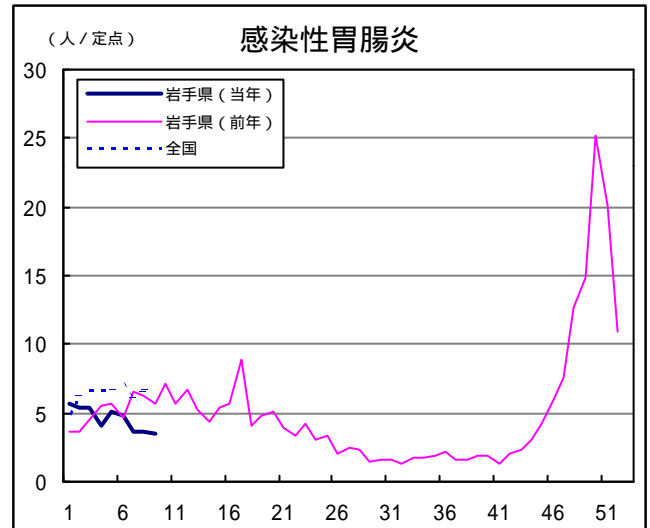
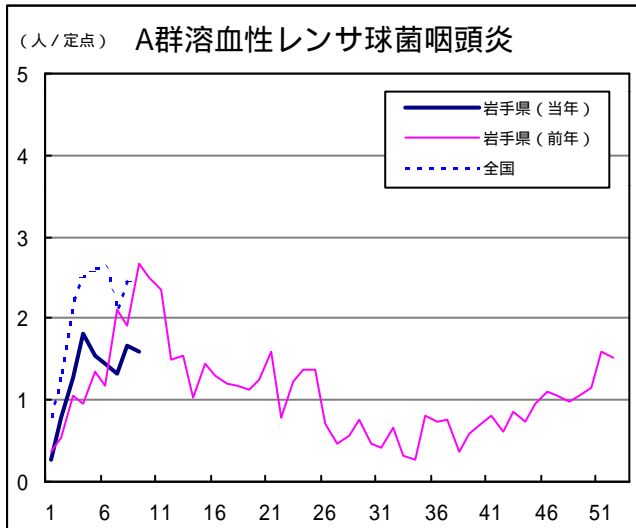
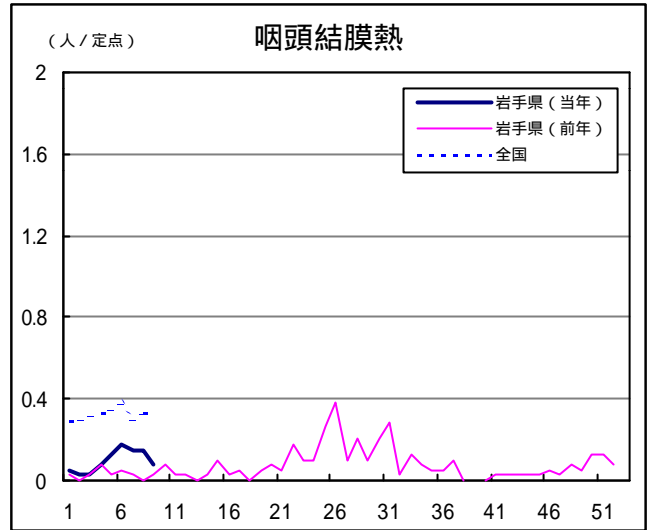
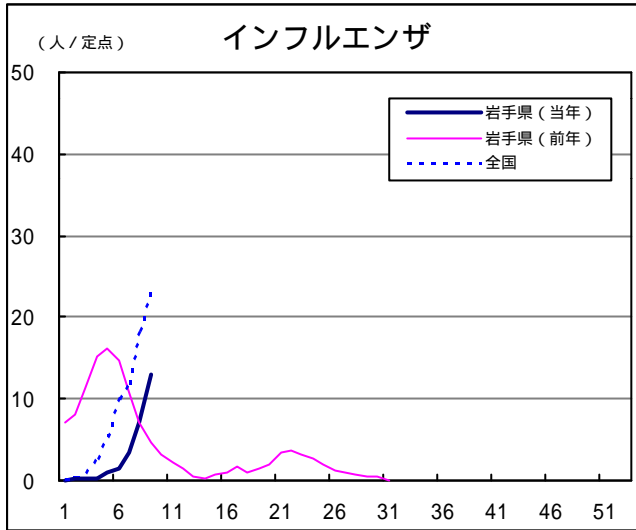
- ・平成19年1月以降 16件目
- ・平成18年1月～12月 27件（ノロウイルス26件、ロタウイルス1件）

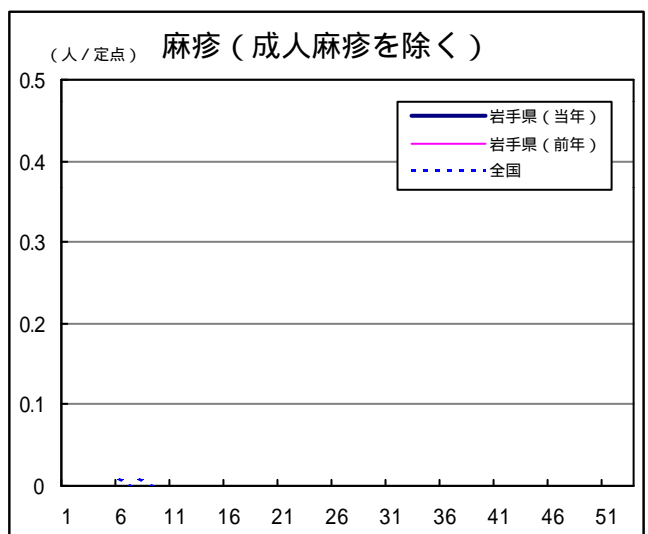
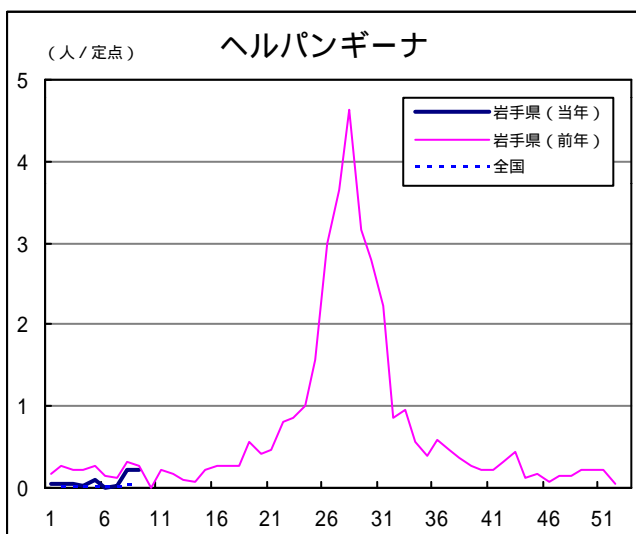
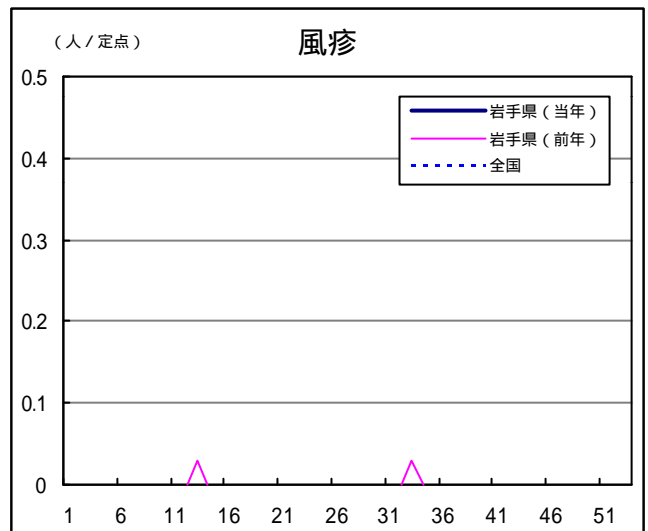
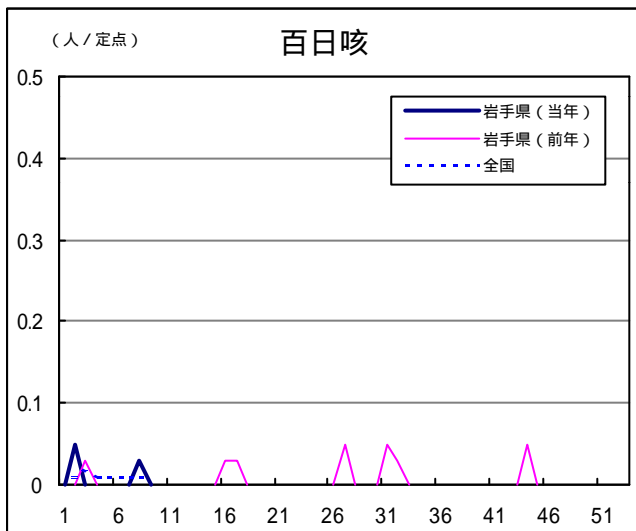
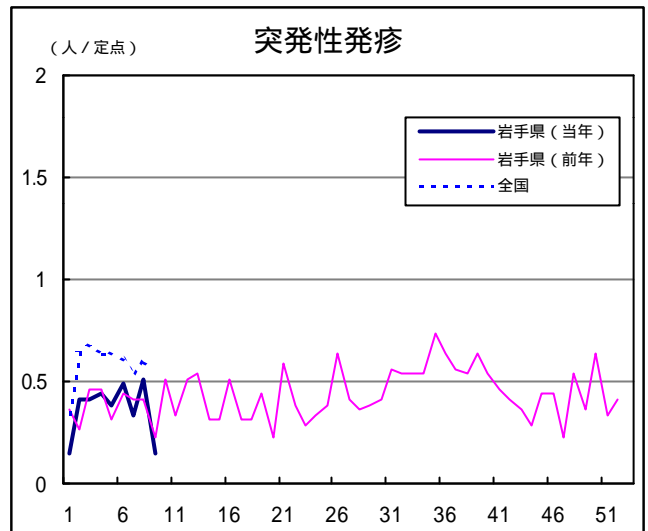
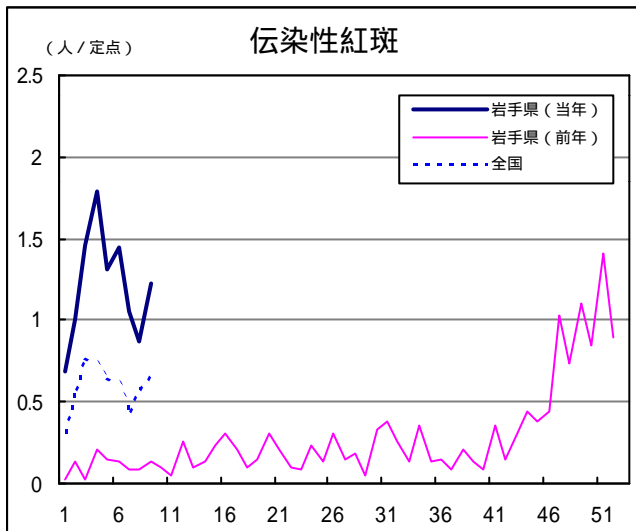
Q & A

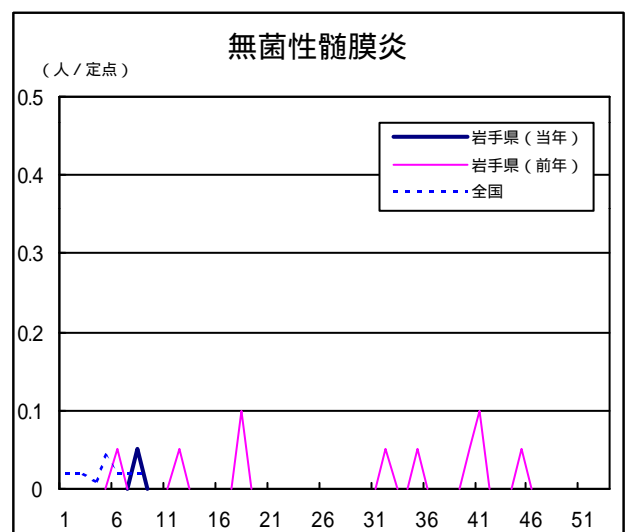
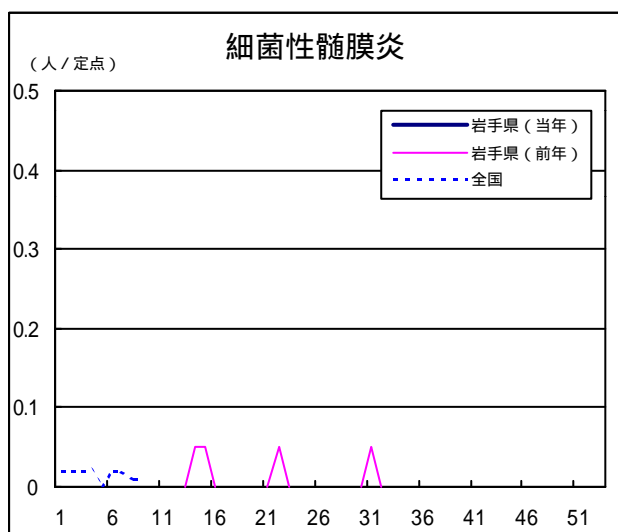
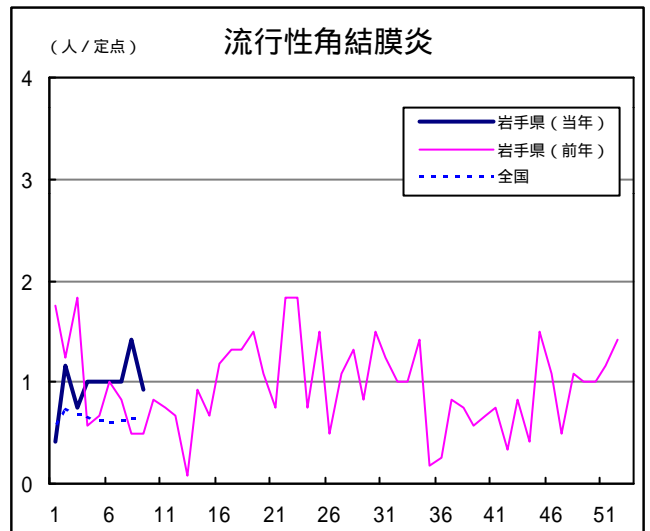
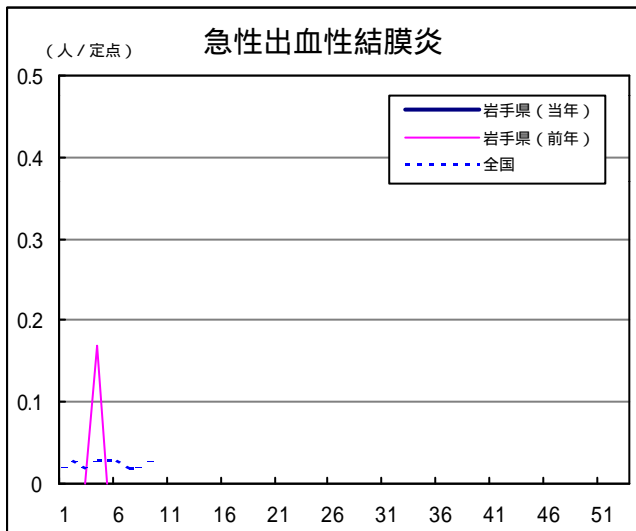
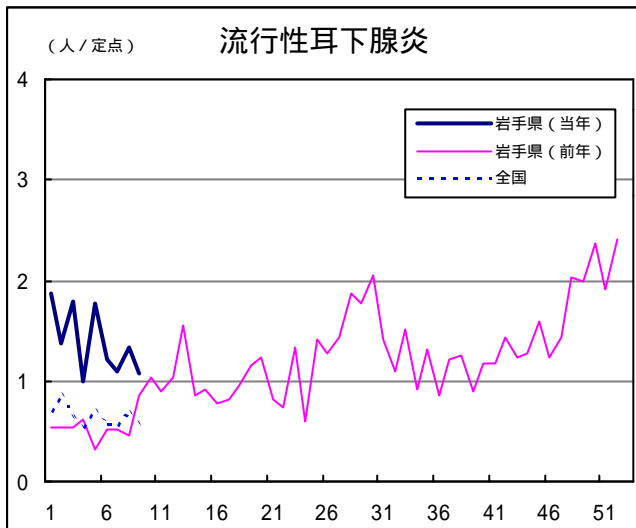
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

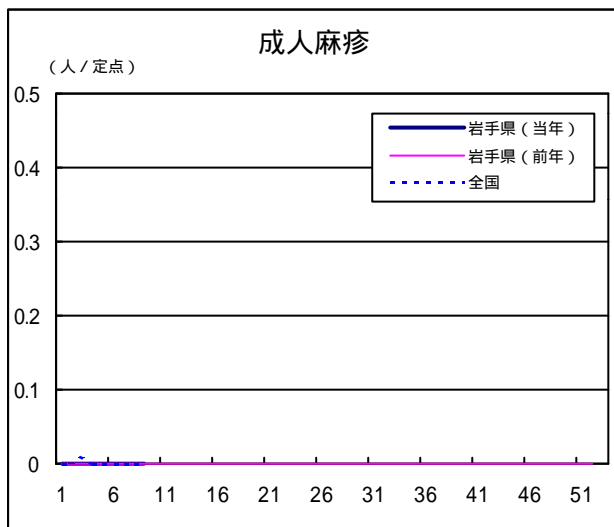
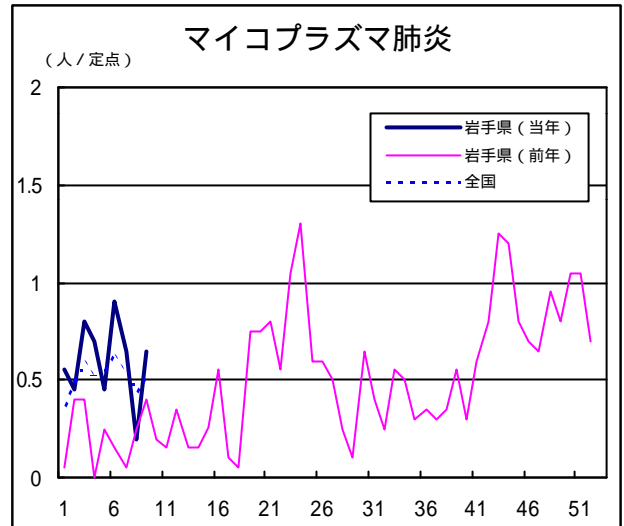
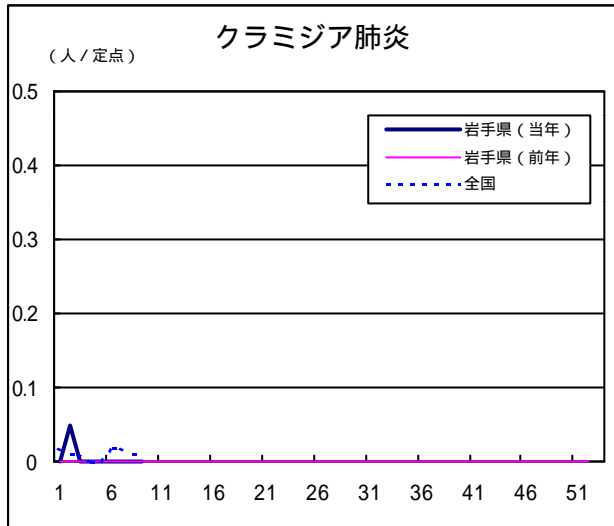
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県		63	39	12	20
盛岡		17	11	3	5
花巻		7	4	1	3
北上		5	3	1	2
水沢		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成19年第9週 平成19年3月9日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail：CC0019@pref.iwate.jp
 URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>